

2009

函館学

キャンパス・コンソーシアム函館
合同公開講座

函館学2009

講義資料

平成21年7月11日(土)午後2:00~3:30

「箱館八景扇面図 考」

山形法律事務所事務局長 山形 周文

会場:函館国際ホテル

主催 キャンパス・コンソーシアム函館

函館中央図書館所蔵扇面図『箱館八景扇面図』考

平成二十一年七月十一日 函館国際ホテルにて

山形 周文

序

函館中央図書館に一卷の扇面軸があります。「箱館八景扇面図」があります。今から凡そ百五十五年ほど前の箱館の観光絵巻です。八箇所を選び七字×四行の「七言絶句」の漢詩と墨絵の風景画がついています。函館市民にとっては馴染みの場所ばかりですね。絵を眺め、漢詩を読んでみると、ちよん髷姿で、あの坂・この坂をぶらぶらと散策するような夢心地になりませんか。それではご一緒に散策してみましよう。

扇面其の一

詩題	作者雅名	役職名
亀田落雁	肝付櫻嶼（兼之丞）	支配調役
稱名晚鐘	安間心齋（純之進）	支配調役↓組頭勤方
水源夜雨	塩田松園（順庵）	学問教授役。医師。
立待秋月	力石緑昔（勝之助）	支配調役↓組頭

扇面其の二

詩題	作者雅名	役職名
駒嶽暮雪	鎮臺堀公（堀利熙）	箱館奉行（織部正〓官名）
七重晴嵐	菅野蕙塙（狷介）	堀奉行中小姓
辨天夕照	鈴木茶溪（尚太郎）	支配調役
山背歸帆	玉蟲拙齋（左太夫）	堀奉行近習

幕末の箱館にこれほど才能に溢れた侍たちが集まっていた事を、市民の方々はぜひ記憶していただきたいと思います。



箱館八景扇面図

其の一

漢詩

函館市立図書館所蔵

亀田落雁 肝付櫻嶼

十里江村蘆荻灘 白雲明月海漫漫
就中最好秋風夕 一字雁行橫水端

稱名晚鐘 安間心齋

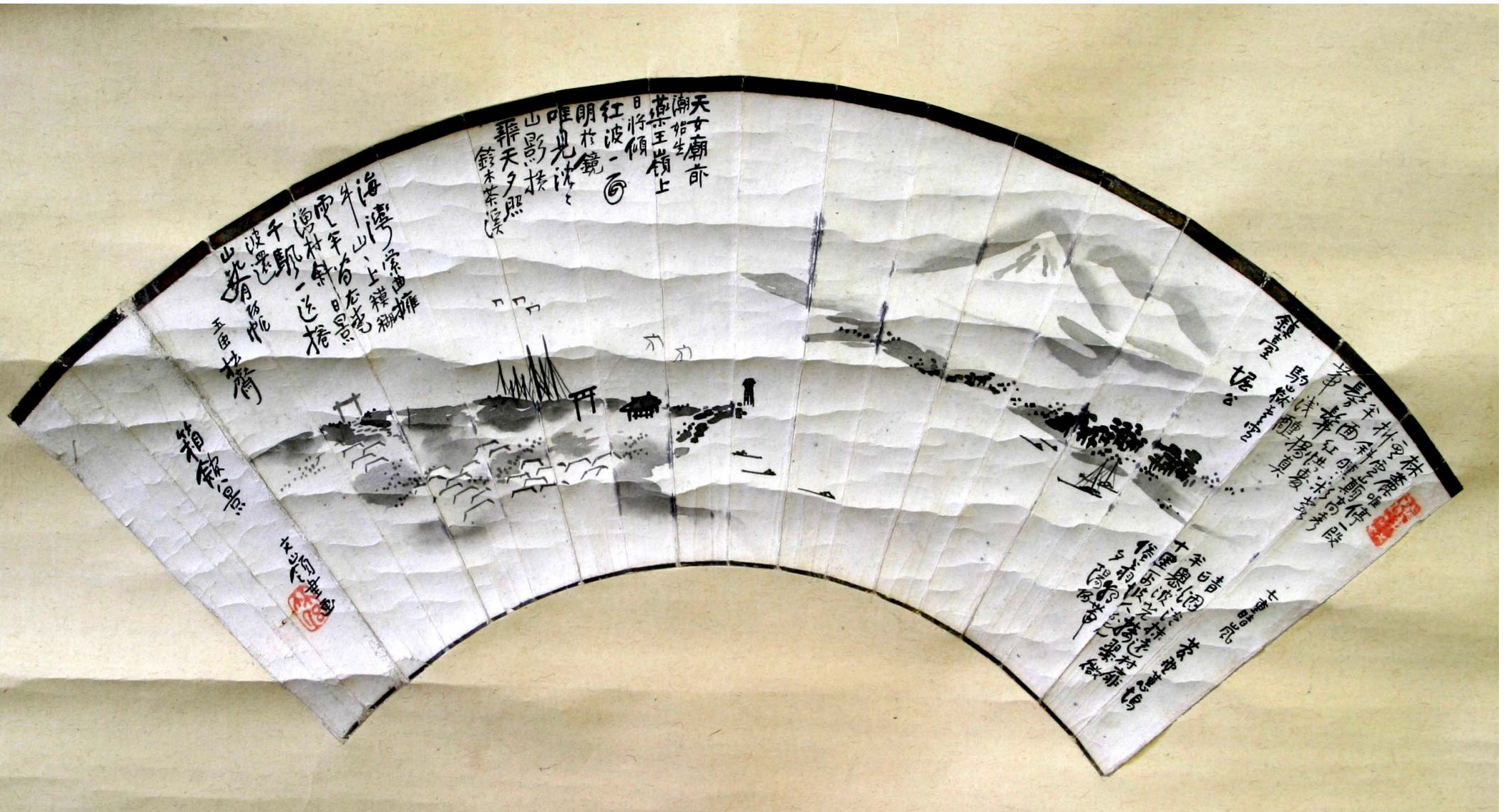
斜日低春山脚懸 珠樓掩映翠微邊
蒲牢遙度雲林出 驚起寒鴉滿暮天

水源夜雨 塩田松園

造物特分桃李場 青嶂劈開此間藏
空濛一夜落花時 流向前村綠水香

立待秋月 力石緑昔

立待礮臺秋氣清 西風淅瀝起潮聲
漫漫海上惡纖醫 一片氷輪眼界明



箱館八景扇面図

其の二

漢詩

函館市立図書館所蔵

駒嶽暮雪

鎮臺

堀公

林麓唯停一段雲

雪巔高秀掛斜曛

彩巖半面紅烘處

髣髴楊慎帶淺醺

七重晴嵐

菅野蕙塢

晴烟淡抹遠村扉

半畧波光擣翠微

十里平坡人不見

驚起寒鴉滿暮天

辨天夕照

鈴木茶溪

天女廟前潮始生

葉王嶺上日將傾

紅波一面明於鏡

唯見沈沈山影橫

山脊歸帆

玉蟲拙齋

海灣縈曲擁牛山

山上模糊雲半間

尤愛漁村斜日景

千颿一送捲波還

箱館八景扇面図の頃の箱館

宇須岸（ウスケシ）

函館山に上る坂道の一本に西部元町公園に行き当たる広い坂があります。上る向こうには公会堂が見えます。その辺りはウスケシと呼ばれていました。坂の右側に元の私立函館病院がありました。その辺りに東西約九十二メートル、南北約百十五メートルの大きさに土塁を築き、環濠を巡らせた館がありました。

遙か昔、亨徳三年（一四五四年）、津軽の豪族安東政季に従って蝦夷地に渡った河野政通が建てた「河野館」です。

「河野館」は永正九年（一五二二年）、アイヌの反乱で打ち破られてしまい、和人は東部の「亀田」の地に去り、以後百余年に渡り、この地に住まないで、寛保元年（一七四一年）になり、松前藩が亀田奉行所を建てたのです。

寛政十一年（一七九九年）、幕府が東蝦夷地を直轄し、享和二年（一八〇二年）、箱館奉行所を建てました。

遠くから見ると箱型に似ているところから、「箱館」と呼ばれ、坂の名前は「基坂」もといさかと呼ばれました。

「箱館」から「函館」に正式に改称されたのは、明治二年のことです。榎本武揚が五稜郭戦争で降伏した後の話です。

奉行所は、最初は蝦夷先住のアイヌ族対策や、和人の北洋漁業船の取り締まりをする松前藩の出張所でしたが、押し寄せる外国の圧力に備え、幕府から選抜された有能なサムライ達が赴任してくるのです。

扇面図の由来 どのように「掛け軸」は函館に來たのでしょうか？

岡田健蔵先生 「みんな、喜んでくれ！ドッサリ貰って帰って來たぞ！」

「箱館八景扇面図」の条幅は、扇子の表と裏にそれぞれ漢詩四首と四つの風景を書いたものを剥がして裏打ちし、 上下二段に並べて一本の軸物に表装したものです。

扇子に書画を書き、祝い事や送別の記念に贈る風習は、古く平安時代から行われた風雅な日本伝統文化のひとつです。

昭和十五年（一九四〇年）一月二十四日（水曜日） 函館新聞記事

「波響研究 蠣崎家から資料圖書館へ 座談会記事に感激寄贈」

全国図書館協会大会に列席のため上京した岡田私立図書館長は21日昼入港の連絡線から、あの小柄の體を小躍りさせながらタラップを転げるように駆け降りたものだった。それは小旗を振り、歓呼の嵐を浴びせる熱狂の歓迎陣こそはなかったが、恰も『凱旋將軍』の如く意気揚々たるものがあった。やがて、図書館の館長室に納まった岡田さんは何はサテ措いても電話に囁り付き知友關係に送った快報は「皆、喜んでくれ。波響の資料をドッサリ貰って帰ったぞ！今すぐでもいいから來て、見てくれないか」との元気一杯、歡喜に酔ふた弾んだ聲だった。



昭和十五年一月二十四日 函館新聞（現在の北海道新聞）
書類に埋もれているのは岡田健蔵先生。

箱館八景は一体どのように八つを選んだのでしょうか？

八景とはどのようなものでしょうか？

瀟湘八景が歴史に初めて登場したのは、中国の北宋時代（九六〇年～一二二七年）

の瀟湘八景です。瀟湘八景は以下からなり、すべて湖南省に存在します。

- ① 瀟湘夜雨 ② 平沙落雁 ③ 烟寺晚鐘 ④ 山市晴嵐
- ⑤ 江天暮雪 ⑥ 漁村夕照 ⑦ 洞庭秋月 ⑧ 遠浦帰帆

日本では近江八景（琵琶湖近辺）や金沢八景（神奈川県横浜市金沢区）が有名です。

金沢八景は、葛飾北斎、歌川広重などにより浮世絵にもなっています。

函館漢詩文化会で「最後の箱館奉行 杉浦誠 梅潭」が残した箱館八景の漢詩を解説・

鑑賞しています。杉浦梅潭は勝海舟の漢詩の師匠でもありました。

扇面図の作者について

文嶺とはどのような人物なのでしょう？

蠣崎波響の弟子。奥羽福島の人。松前に遊んだ折、藩主から武士待遇を受け、座右に持す。

早坂文嶺は二司馬ニシバと号しました。文嶺は蝦夷先住民であるアイヌに親近感を寄せ、「二司馬」と号したのです。ニシパとはアイヌ語の尊称。高貴な人・旦那様・恋人。

では文嶺が作った漢詩を一つ紹介いたしましょう。

断髮左衽馱舌声

だんぱつさせん
げきぜつ
断髮左衽し 馱舌の声

渾家鮮食海縦横

すへ
せんしょく
じゅうおう
渾ての家は鮮食して 海を縦横す

功名富貴総無意

すへ
功名富貴 総て意無し

羨爾獵漁過一生

うらや
りようりょう
羨ましいかな 獵漁に一生を過す

語釈 断髮左衽断髮左衽＝鬚を結わず、左前の襟のアイヌの風俗のこと。

馱舌声馱舌声＝モズの鳴き声。異民族の意味不明な言葉。

功名富貴功名富貴＝世俗の栄誉や金銭。

詩意 異民族の髪型と服装で、百舌の鳴き声みたいに言葉が解らない。

どこの家でも新鮮な魚を食べ、海に出て自由自在に働いている。

世俗の名誉や金銭などを、ちつとも気にしない。

ああ、羨ましいなあ。狩猟をして、漁業をして生涯を送るなんて

堀織部の人となり

文政元年（一八一八年）～万延元年（一八六〇年） 江戸に生まれる。父は二五〇〇石の幕臣堀伊豆守利堅。四男として生まれる。字は欽文、公績。号は有梅・梅花山人。「織部正」とは従五位下の官位で、安政元年七月に堀が箱館奉行に任ぜられた際に叙爵された官名です。

母は林述斎の娘です。述斎は「大学頭」だいがくのかみという地位にいました。大学頭は幕府の最高学府である「昌平黌」の「祭酒」でした。東京大学学長か文部科学大臣にあたるかもしれませんが、当時の地位は遥かに強大だったそうです。

昌平坂学問所は幕府官吏の登竜門とされ、「校試」に登題（合格）することが官僚への道となり、天下のエリート達が競い集まったのです。

堀も昌平坂学問所の試験に合格、二十五歳の時、優秀な成績で卒業しています。同期生には永井尚志・岩瀬忠震・栗本鋤雲なつぐんなど幕末を飾る最高の俊英達がいまいます。安政元年箱館奉行に任ぜられ「織部正」の官位を受けます。同五年には、奉行の中でも最高クラスの外国奉行と神奈川奉行に抜擢されますが、その後突如切腹自殺してしまいます。

堀が蝦夷巡検の隊長に任ぜられると、諸藩のエリート達が争って参加を申し出ています。その一人に昌平坂学問所の卒業試験に落ちて浪人となった榎本武揚がいました。

関連

鳥居耀藏（マムシの耀藏）

子曰爲政以德譬如北辰居其所而衆星共之 孔子「論語」 為政篇

堀織部の肖像について

堀織部の記録は、玉虫・菅野の日記に酒宴の記録があるものの、まとまった漢詩集や本人の書いた日誌などがなく、その人となりについては奥深くまでは知ることが出来ません。

「北海詩談」の中に「容姿は魁偉（並外れて雄大）で長髯ちようぜんを蓄えたくわ、当代随一の達識（優れた見識）の士」とありますが、その根拠となる文献・写真は不明でした。

どうして堀織部の写真だけが未だに不明なのかに関しては、重要な外国奉行という職にありながら突然自殺したという事情が関係しているのではないか・・・等との推察さえ飛び出していました。

ところが、近年英国の王立ビクトリア&アルバート博物館の一枚の写真が見つかりました。安政五年（一八五八年）七月、エルギン卿が率いるイギリス使節団との間で日英修好通商条約を締結したときの日本側代表団の顔ぶれです。右から二人目が堀織部です。右は永井玄蕃頭尚志です。

堀の写真を世に知らしめたのは、守節 山形道文先生です。二〇〇五年に横浜開港資料館の写真を研究、同館学芸員に問い合わせ、初めて堀織部の肖像画と突き止めました。函館市在住の北海道史研究協議会渡島地区幹事の近江幸雄先生が「ぜひ発表すべきだ」とアドバイスしてくれました。



1858年 ビクトリア&アルバート博物館所蔵
「Japanese Commissioners」

堀織部の漢詩

箱館八景「駒嶽暮雪」 鎮臺堀公

林麓唯停一段雲

りんろくただてい
林麓唯停す 一段の雲

雪巔高秀掛斜曛

せつてん ひ
雪巔高く秀いで 斜曛に掛る しゃくん かか

彩巖半面紅烘處

さいがん はんめん
彩巖の半面 紅烘る處 くれないもゆ ところ

髣髴楊慎帶殘醺

ほうふつ ようしん
髣髴たり楊慎 殘醺を帯びるを せんくん

語釈

駒嶽＝蝦夷駒ヶ岳。暮雪＝夕暮れの雪景色。鎮臺＝箱館奉行。堀公＝堀織部正。

利熙。雪巔＝雪の頂。斜曛＝夕陽。彩巖＝色の付いた岩。處＝所。髣髴＝ほのかに眼の前に浮かぶ。

詩意

駒ヶ岳のふもとは、一流れの雲がたたずみ

白雪をかぶって聳える頂には、夕陽が当たっている。

色とりどりの岩の半面は、真っ赤に日に映えている。

ああ、眼に浮かぶ、あの敬愛する楊慎先生のほろ酔いのお姿が。

補足資料

堀織部が万延元年（一八六〇年）十二月五日（十一月六日という説もある）、自宅で突然、切腹自殺します。安藤と激論をしたその夜のことです。

安藤は、堀の自殺を知らながら、堀が病氣療養中であると装い、長年の功績に対して褒美を与えています。安藤は、同年三月三日の桜田門外の変で殺された井伊大老の首のない死体に対して長々と怪我のお見舞いの口上を述べて、死を隠蔽する芝居を打ったばかりでした。

堀の自殺に関して諸説紛々の状況ですが、深く掘り下げたいと思います。

あんどう のぶまさ
安藤 信正 文政二年（一八二〇年）～明治四年（一八七一年）

陸奥国磐城平藩の第五代藩主。安藤家第一〇代。幕末に若年寄、次いで老中を務めた。

一八六二文久二年、**坂下門外**の変に遭う。時の老中**安藤信正**が、登城途中、水戸浪士ら七人に襲撃された。しかしながら、**桜田門外**の変での教訓から警備が厳重であったため、背中二箇所ふたところの軽傷で済み、暗殺は未遂に終わった。しかし、背中に傷を受けた醜態を指弾され、権力の座から追われた。



補足資料 堀利熙が安藤信正に宛てた書簡（部分を抜粋）

上安藤對州閣下書（此篇興風集所採者訛謬尤多蕪辭亦不少余嘗藏一本與興風集大同小異而頗屬渾整今又參訂彼此以爲定本矣讀者勿罪余僭踰）

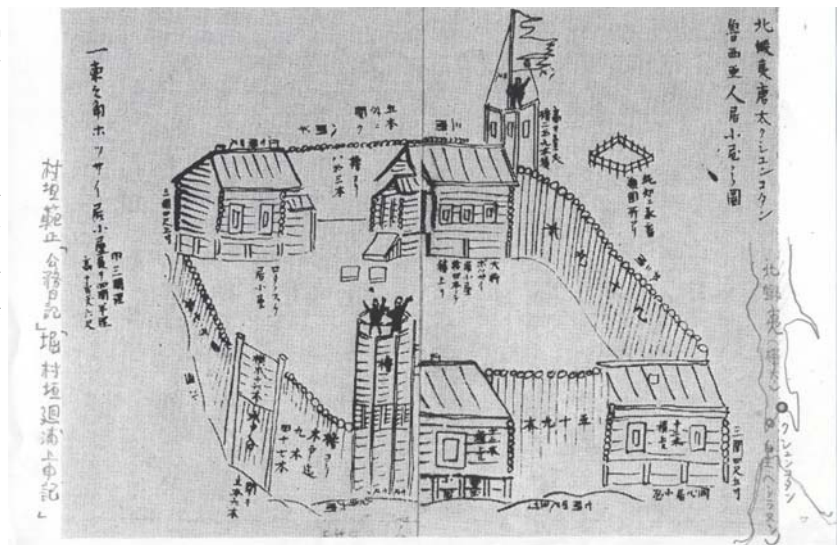
外國尹織部正堀利熙謹白語云鳥之將死其鳴也哀人之將死其言也善臣嘗知之矣嚮不顧微軀激論忘答不服於閣下之高議其罪當萬死矣今復不避斧鉞之誅碎肝腦絞腸血（舊本作屠膽腸今據興風集改之）聊述鄙言以聞閣下請少容焉抑外虜航海爾來公議百方不決於戰守而決和親是時也誰不可防惟（據興風集補之）切齒扼腕而已矣臣深憂之嘗上縷々之鄙言頗有所容而東馳西奔預其事固臣之職不可不竭也然均是人也豈無忼慨義烈之志哉近者閣下濫於公議（當時俗謂幕府曰公議與上文異）之海涵恣意忘行無顧忌既犯大義者不可勝舉（編者註後刷本算）也就中墨使都督米理弩兒微行

於貴邸專議我政事閣下俱被同餐尊之如父師遂與我國典教數部是可怪一也彼與閣下結伯仲之義而贈氈帛奇玩數千閣下酬之以慶長正保金若干兩是可怪二也彼醉倒之際戲於閣下之侍婢而閣下許興之是可怪三也彼請築居館於御殿山一月以金八百兩券之閣下遂許之是可怪四也此四事犯大義者最甚然而有尚甚於此者竊聞彼妄議廢天子之事閣下使廢國學人討索舊典私畫其儀豈謂之何哉至於此血淚如雨鍊腸欲裂天下人慟哭憤怨皆欲食閣下之肉實大逆無道天誅固不容也其顛末（顛末猶始終也於此恐不妥貼）已於彥根元老可見是臣所以深爲閣下憂也然道路之言雖有所未可盡信而天以人言則其事果不虛矣是臣誓所以不服於閣下之高議也閣下若不忘邦之大義則致忠於天朝竭身於幕府施仁政於民是臣所伏祈也今將屠死其言也必善閣下請少容焉臨表不堪泣涕

参考資料

嘉永七年（一八五四年）カラフトの見分に赴いた堀織部と勘定吟味役村垣与三郎が、その春撤退したロシア軍のクシユンコタン占拠中の事情と、アイヌの動向を調査して幕府へ報告したもの。堀達はクシユンコタンのムラヴィヨフ哨所図の様子を描いて江戸に送った。左はその図。

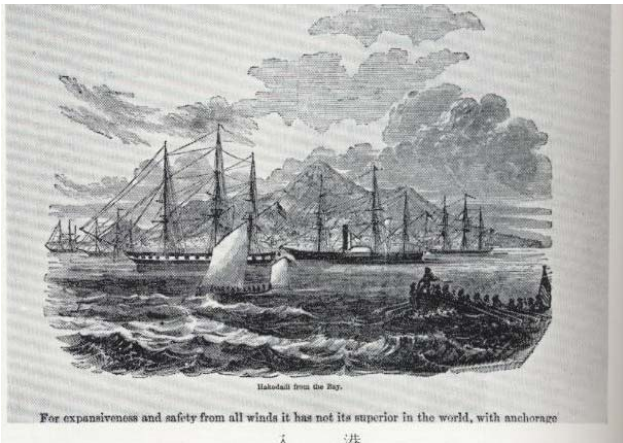
北海道立図書館所蔵



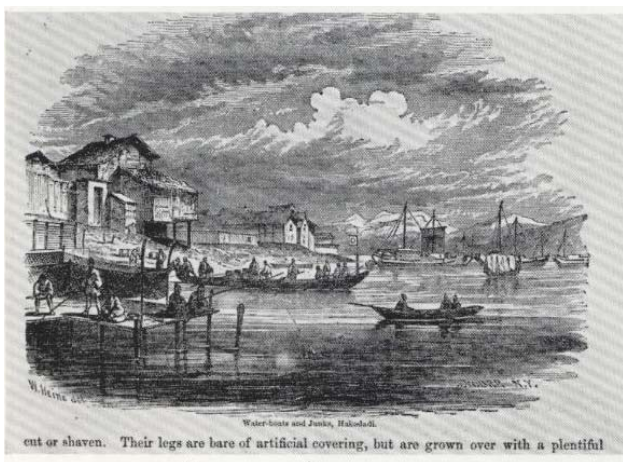
左は玉虫左太夫肖像



「ペリー遠征記」挿絵



上は入港・下は函館港内の様子



永井玄蕃（尚志）
写真と直筆の獄中詩



塩田順庵（松園）



箱館全景軸



函館図書館所蔵

桜田門外の変



茨城県立図書館所蔵

参考資料 安政五年当時の箱館奉行と役職名・人数・俸禄

箱館奉行（三名）	二〇〇〇石	役料一五〇〇俵
支配組頭（三名）	一五〇俵	三〇〇俵 役金一二〇両
組頭勤方（三名）	一五〇俵	三〇〇俵 役金一二〇両
調 役（六名）	一五〇俵	一〇人扶持 役金九〇両
調役並役（十三名）	一〇〇俵	七人扶持 役金七〇両
調役並出役（五名）	七人扶持	役金五〇両
支配勘定格調役下役元締（四名）	一〇〇俵	五人扶持 役金四十五両
調役下役元締（一名）	八〇俵	五人扶持 役金四十五両
調役下役（四十三名）	三〇俵	三人扶持 役金三十五両
同心組頭（三名）	二〇俵	二人扶持 役金七両 勤金一月二分
同心組頭格（七名）	二〇俵	二人扶持 役金七両 筆墨一月銀五匁
同心（九十四名）	二〇俵	二人扶持 手当 六両
与力（六名）	現米八〇石	仮抱一〇人扶持
足輕（八十六名）	四石二斗二人扶持	